



## 8月21日（金）CYK、KURATA PEPPER、Nyonyum SHOP を訪問

### 【CYK(Caring for Young Khmer)】

CYK は NGO 団体である「幼い難民を考える会」のカンボジア事務所です。内戦により難民となったカンボジアの子どもたちが少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようにとの願いから発足しました。現在はカンボジアの保育活動支援と女性自立支援を中心に活動しています。代表の関口晴美さんの案内で、幼稚園と女性自立支援織物研修センターを訪問し、お話を伺うことができました。

### 「プレイタトゥ幼稚園」

子どもたちが歌を歌って迎えてくださいました。私たちも子どもたちと共に「Head Shoulder Toe knee and Toe」を歌い、踊り、皆が一つになることができました。幼稚園の先生方とディスカッションをする時間を持ち、子どもたちの現状や今後の活動について伺いました。



[子どもたちも私たちの踊りに合わせて]



[最後に園舎の前で記念撮影]

### 「女性自立支援織物研修センター」

母親の生活のゆとりが子育てにつながるという考えから絹の絵紉（ピタン：カンボジアの伝統織物）の技術を教えて経済的な自立を促すことを目的に設立された研修施設です。研修センターで製作された織物は個人から買い上げ、製品化して販売しています。



[機織りの様子を間近に見学]



[美しいカンボジアシルクが並ぶ店内]

## 【KURATA PEPPER (倉田ペッパー)】



かつてはカンボジアの胡椒は世界一の品質を誇っていましたが、内戦の影響で生産量が激減してしまいました。

その胡椒を再び世界一へと蘇らせるため、カンボジア伝統の有機栽培にこだわり安心・安全・最高級の商品を提供し続けています。

代表の倉田浩伸さんに作業場とお店を案内していただき、お話を伺うことができました。起業までのご苦労とこれまでのご努力を知ると共に、私たちに寄せてくださった期待と温かいお言葉に涙が流れました。

## 【NyoNyum SHOP (ニョニユム ショップ)】



代表者の山崎幸恵さんはカンボジアの民芸品生産販売を行うかたわら、2003年にはカンボジア初の生活情報誌『NyoNyum』を創刊しました。NyoNyumとはクメール語で「笑顔」の意味ですが、山崎さんが初めてカンボジアの地に降り立ったとき、最初に出会った少女の笑顔に魅せられたことに由来しているそうです。

山崎さんはこの日、外務大臣の通訳のお仕事もあり、ご多忙の中、私たちのために時間を取ってくださり質問にも次々に答えてくださいました。私たちのLABO3の研究テーマである「途上国で活躍する女性リーダー」との出会いと示唆に富んだお話は研究をさらに深めてくれるものになりました。